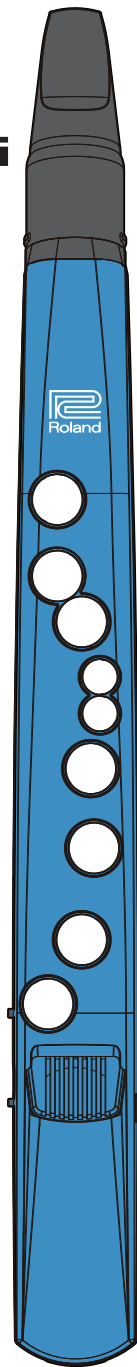


Aerophone mini

取扱説明書

目次

各部の名称とはたらき	2
音を出すための準備	4
電源を選ぶ	4
電源を入れる	5
バンドを巻く	5
音の設定を変更する	6
必要に応じて準備する	8
ヘッドホン／外部スピーカーに接 続する	8
お買い上げ時の設定に戻す (ファクトリー・リセット)	8
演奏する	9
ネック・ストラップを取り付ける ..	9
構えかた	9
音の出しかた	10
オクターブ・キーの使いかた ...	10
演奏キーの押さえかた	11
Bluetooth 機能を使う	12
こんなことができます	12
接続手順	12
スマートフォンで再生した音楽に 合わせて演奏する	12
アプリと連携して使う	13
Bluetooth 接続できないときは？	14
Aerophone mini のお手入れ ...	15
安全上のご注意	16
使用上のご注意	18



English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

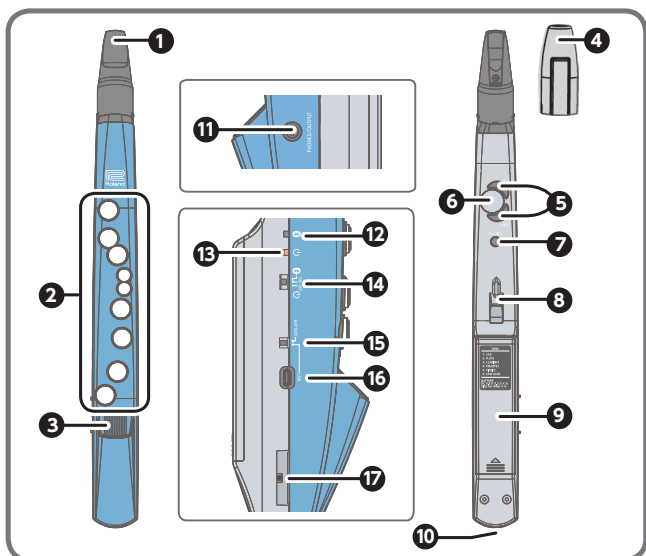
Español

Português

Nederlands

※ 本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」(P.16)と「使用上のご注意」(P.18)をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

各部の名称とはたらき



① マウスピース

リードと一体になったマウスピースです。

② 演奏キー

演奏用のキーです。リコーダーをベースとした連指で演奏することができます。

➡ 「演奏キーの押さえかた」 (P.11)

③ 内蔵スピーカー

④ マウスピース・キャップ

マウスピースを保護します。演奏しないときは、マウスピース・キャップをはめてください。リードに当たらないように注意して、カチッという音が鳴るまで押し込みます。

⑤ オクターブ・キー (UP / DOWN)

オクターブを切り替えます。1 オクターブ上げたり下げたりすることができます。左手の親指で操作します。

また、音の設定で設定値を選ぶときに使います。

➡ 「オクターブ・キーの使いかた」 (P.10)

➡ 「音の設定を変更する」 (P.6)

⑥ サム・レスト

左手の親指を添えます。

➡ 「構えかた」 (P.9)

⑦ [ファンクション] ボタン

音色や音量、移調など各種設定をします。

➡ 「音の設定を変更する」 (P.6)

⑧ サム・フック／ストラップ・リング

フックの下側に右手親指を置きます。また、ストラップ・リングにネック・ストラップを取り付けます。

➡ 「構えかた」 (P.9)

➡ 「ネック・ストラップを取り付ける」 (P.9)

⑨ 電池ボックス

Aerophone mini を電池で使用するときは、ニッケル水素電池 (単 3 形) を 4 本入れてください。

➡ 「電源を選ぶ」 (P.4)

※ アルカリ電池、マンガン電池は使用できません。

⑩ ウォーター・ドレイン

水滴が出ます。柔らかい布で拭いてください。

⑪ PHONES/OUTPUT 端子

ヘッドホンまたは外部スピーカーに接続します。

➡ 「ヘッドホン／外部スピーカーに接続する」 (P.8)

⑫ Bluetooth LED (青色)

LED の表示で、Bluetooth の接続状況を確認できます。

点灯	Bluetooth 接続済み
点滅	Bluetooth 接続待ち
消灯	Bluetooth オフ

⑬ 電源 LED (オレンジ色)

LED の表示で、電源のオン／オフと電池の残量を確認できます。

点灯	電源オン
点滅	電池の残量が少ない
消灯	電源オフ

⑭ [⏻] スイッチ

電源オフ／電源オン／電源オン+ Bluetooth オンを切り替えます。

➡ 「電源を入れる」 (P.5)

⑮ パワー・セレクト・スイッチ

Aerophone mini の電源 (電池／USB AC アダプター) を選びます。

➡ 「電源を選ぶ」 (P.4)

⑯ USB 端子

Aerophone mini を USB AC アダプター (別売) からの給電で使用する場合は、付属の USB ケーブルを接続します。

➡ 「電源を選ぶ」 (P.4)

※ 付属の USB ケーブル以外使用しないでください。

⑰ コード・フック

USB ケーブルを使うときは、コード・フックにコードを固定します。

➡ 「電源を選ぶ」 (P.4)

音を出すための準備

Step 1 電源を選ぶ

Aerophone mini は、電池または USB AC アダプターからの給電で使うことができます。

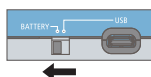
電池の場合

約 10 時間演奏できます。

1. ニッケル水素電池（単 3 形）を 4 本入れます。

※ アルカリ電池、マンガン電池は使用できません。

2. パワー・セレクト・スイッチを「BATTERY」側にします。



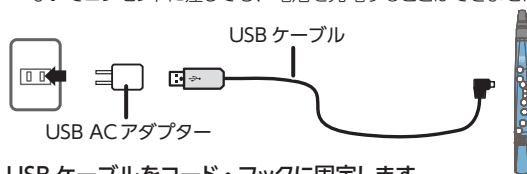
- ※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。
- ※ 電池の寿命は、電池の仕様、容量、使用状態によって異なります。
- ※ 電池の残量が少なくなったときは、電源 LED（オレンジ色）が点滅します。
- ※ 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。「安全上のご注意」（P.16）「使用上のご注意」（P.18）に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。

USB AC アダプターの場合

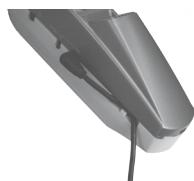
電池切れの心配なく演奏できます。

1. Aerophone mini の USB 端子に、USB ケーブル（付属）と USB AC アダプター（別売）を接続します。

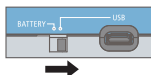
- ※ USB AC アダプターは付属していません。スマートフォンやタブレットなどの充電器をご使用ください。
- ※ 電池を本機に入れた状態で、USB ケーブルと USB AC アダプターをつないでコンセントに差しても、電池を充電することはできません。



2. USB ケーブルをコード・フックに固定します。



3. パワー・セレクト・スイッチを「USB」側にします。

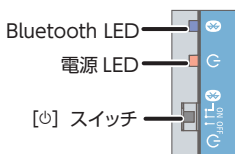


※ 必ず付属品の電源用 USB ケーブルを使用してください。また、プラグ部分を持って抜き差ししてください。

※ USB ケーブルの取り扱いにご注意ください。唾液が USB ケーブルを伝って USB AC アダプター内部に入ると、故障や感電の原因となります。

Step 2 電源を入れる

[ON] スイッチを「ON」の位置にします。Bluetooth 機能を使う場合は、[BT] の位置にします。



注意

マウスピースは、電源投入時に感度を自動調整します（システムの起動に 7 秒程度かかります）。そのため、[ON] スイッチを入れるときには、マウスピースをくわえたり手で触れたりしないでください。

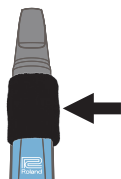
※ 電源 LED の表示で電源のオン／オフを確認できます。

※ 電源スイッチをオフにした場合は、電源 LED が点滅してシャットダウン処理を行います。LED が消灯するまでに電池をはずしたり、USB AC アダプターを抜いたりしないでください。

※ 本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます（オートオフ機能）。自動的に電源が切れないようにするには、アプリからの操作でオートオフ機能を解除してください。電源を再びオンにするときは、[ON] スイッチを一度「OFF」の位置にしてから、再び「ON」の位置にしてください。

Step 3 バンドを巻く

長時間演奏を続けると唾液が垂れ、本体を伝って [ON] スイッチや各種キー周辺から内部に侵入する恐れがあります。付属のバンドを図のように巻いてお使いください。



English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

Step 4 音の設定を変更する

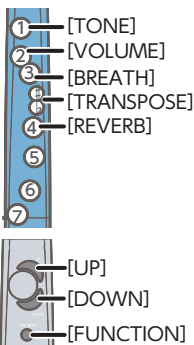
1. [FUNCTION] ボタンを押しながら、設定したい項目に対応した演奏キーを必要な数だけ押します。

演奏キーを押すたびに設定値が増え、選ばれた設定値の数だけ「ピッ」という音が鳴ります。

例) 「1:SAX」の音色を「5:VIOLIN」に変える場合は、[FUNCTION] ボタンを押しながら [TONE] ボタンを押す操作を、4 回繰り返します。

メモ

[FUNCTION] ボタンを押しながら、[UP] [DOWN] ボタンを押しても設定値を変更できます。



音色

演奏キー 1 [TONE]

音色リスト

設定値	音色名	説明
1	SAX	サククス
2	FLUTE	フルート
3	CLARINET	クラリネット
4	TRUMPET	トランペット
5	VIOLIN	バイオリン
6	SAW LEAD	ソー・リード (シンセサイザー音色)

※ 音色名は、Aerophone mini 本体の電池蓋にも記載しています。

音量

演奏キー 2 [VOLUME]

Aerophone mini 本体の音量を調節します。内蔵スピーカーと、PHONE/OUTPUT 端子に接続した機器からの音量が変わります。

設定値	説明
1 ~ 5	数字が大きくなるほど音量が大きくなり、小さくなるほど音量が小さくなります。

息の強さと音の鳴りかた

演奏キー 3 [BREATH]

息の強さと音の鳴りかたを設定します。

設定値	説明
1 Light2	管楽器初心者や肺活量に自信のない方にお薦めです。弱く吹いてもフォルティシモ (ff) が出せます。
2 Light1	
3 Middle	実際の管楽器に一番近い設定です。
4 Heavy1	管楽器経験者の方にお薦めです。より強く吹かないとフォルティシモ (ff) が出せなくなります。
5 Heavy2	

音の響き

演奏キー 4 [REVERB]

音の響きの深さを調節します。

設定値	説明
1 ~ 5	数字が大きいほど響きが深くなり、数字が小さくなるほど響きは浅くなります（設定値 1 は響きオフ）。

演奏する調を選ぶ

演奏キー ♯ または ♭ [TRANPOSE]

半音単位で移調することができます。たとえば、アルト・サクソフンの楽譜を見ながら演奏する場合は、「+3」（E♭）に設定します。

メモ

[UP] と [DOWN] を同時に押すと、調が「C」にリセットされます。

設定値	キー	説明
+6	F♯	高い音程で、設定値の数だけ「ピツ」と短い音が鳴ります。
+5	F	
+4	E	
+3	E♭	
+2	D	
+1	C♯	中くらいの音程で、「ピピツ」と2回鳴ります。
0	C	
-1	B	
-2	B♭	
-3	A	
-4	A♭	低い音程で、設定値の数だけ「ピー」と長い音が鳴ります。
-5	G	

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

Step 5 必要に応じて準備する

ヘッドホン／外部スピーカーに接続する

ヘッドホンや外部スピーカーに接続する場合は、PHONES/OUTPUT 端子に接続します。

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞りと、すべての機器の電源を切ってください。



ヘッドホン

Aerophone mini の内蔵スピーカーから音を出さないで、周囲に音が漏れないように演奏できます。

外部スピーカー

大音量で鳴らせるため、大人数を前に演奏する場合などに便利です。

お買い上げ時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）

Aerophone mini の設定をお買い上げ時の状態に戻す場合は、以下の操作をします。

- 1. [UP] [DOWN] ボタンを同時に押しながら電源をオンにします。**
短く連続して「ピッ」と音が鳴り、待機状態になります。
- 2. [FUNCTION] ボタンを押します。**
長く「ピー」と音が鳴り、工場出荷時の状態に戻します。
- 3. 電源を入れ直します。**
これでファクトリー・リセットは完了です。

演奏する

Step 1 ネック・ストラップを取り付ける

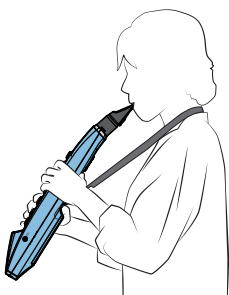
ストラップのフックを Aerophone mini のストラップ・リングに取り付けます。



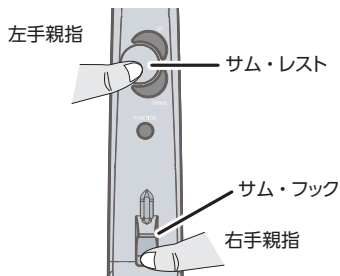
Step 2 構えかた

1. 図のように構えます。

※ 演奏時に唾液が垂れてくる場合は、乾いた布でこまめに拭き取ってください。



2. 左手の親指をサム・レストに、右手の親指をサム・フックの下にあてます。



English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

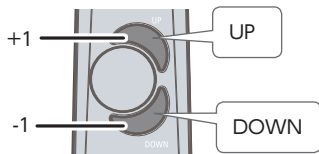
Português

Nederlands

Step 3 オクターブ・キーの使いかた

左手の親指でオクターブを切り替えます。

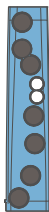
1 オクターブ上げたり下げたりできます。



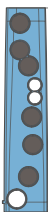
Step 5 音の出しかた

まずは「ドレミファソラシド」を吹いてみましょう。

息をしっかりと吸ってから、楽器全体に送り込むように吹き込みます。



ド



レ



ミ



ファ

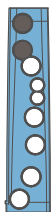
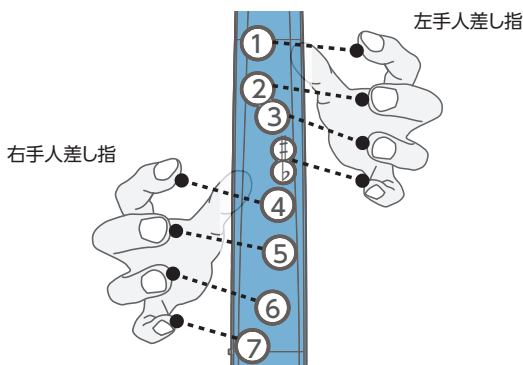


ソ

➡ 運指については、「運指表」(巻末)をご覧ください。

Step 4 演奏キーの押さえかた

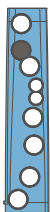
一般的なリコーダーの「ドレミファソラシド」の運指と演奏キー〔＃〕〔b〕を組み合わせ、演奏します。



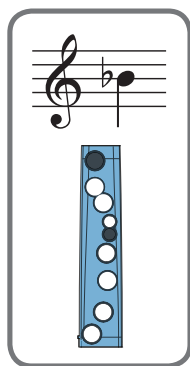
ラ



シ



ド



※〔＃〕〔b〕は、「ドレミファソラシド」の各演奏キーを押さえながら、〔＃〕または〔b〕キーを押さえます。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

Bluetooth 機能を使う

こんなことができます

スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器（以降「スマートフォン」と呼びます）と連携して使うことができます。



- スマートフォンで再生した音楽を、Aerophone mini のスピーカーから鳴らすことができます。また、再生した曲に合わせて演奏することができます。

→ スマートフォンで再生した音楽に合わせて演奏する

- アプリ「Aerophone mini Plus」で、Aerophone mini の詳細設定やアプリだけの音色を使えます。

※ アプリ「Aerophone mini Plus」は、iOS 製品と Android 製品に対応しています。

→ アプリと連携して使う

接続手順

ペアリング

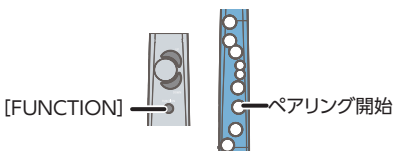
Bluetooth 機能を使って無線接続するには、初めに Aerophone mini とスマートフォンを 1 対 1 で接続する「ペアリング」が必要です。「ペアリング」は、使いたいスマートフォンに Aerophone mini を登録するための手続きです。



スマートフォンで再生した音楽に合わせて演奏する

スマートフォンで再生した音楽に合わせて、Aerophone mini を演奏するための設定をします。

1. スマートフォンを Aerophone mini 周辺に置きます。
2. Aerophone mini の [F] スイッチを [Bluetooth] の位置にします。
Bluetooth LED が点滅します。
3. [FUNCTION] ボタンを押しながら演奏キー 5 を長押しします。
Aerophone mini がペアリング開始状態になります。
ペアリングを開始すると、「ピッ」という音が 2 回鳴ります。



4. スマートフォンの設定で、Bluetooth スイッチをオンにします。

iOS 製品の画面例



5. スマートフォンの Bluetooth デバイス画面に表示される「AE-01 Audio」をタップします。

Aerophone mini とスマートフォンがペアリングされます。
スマートフォンの画面に以下のように表示されたら、接続完了です。

iOS 製品

「自分のデバイス」 → 「AE-01 Audio 接続済み」

Android 製品

「ペアリングされた機器」 → 「AE-01 Audio」

※ Bluetooth 接続を解除する場合は、Aerophone mini の [ON] スイッチを [OFF] 以外の位置にするか、スマートフォンの設定で Bluetooth スイッチをオフにします。

6. スマートフォンの音楽アプリで曲を再生します。

Aerophone mini のスピーカーから曲が鳴ります。
※ 再生音量は、Aerophone mini 本体では調節できません。スマートフォン側の音量を調節してください。

アプリと連携して使う

アプリ「Aerophone mini Plus」を使うための接続をします。

1. アプリ「Aerophone mini Plus」をスマートフォンにインストールします。

アプリは、iOS 製品をお持ちの場合は App Store から、Android 製品をお持ちの場合は Google Play からダウンロードできます。
※ お使いのスマートフォンがインターネットに接続できる環境でダウンロードしてください。インターネットに接続できないと、ダウンロードが完了しません。

2. アプリをインストールしたスマートフォンを、Aerophone mini 周辺に置きます。

3. Aerophone mini の [ON] スイッチを、[OFF] の位置にします。

Bluetooth LED が点滅します。

4. スマートフォンの設定で、Bluetooth スイッチをオンにします。

注意

「デバイス」リスト (iOS) または「使用可能な機器」リスト (Android) に「AE-01」が表示されてもタップしないでください。

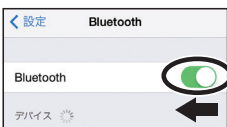
5. アプリを起動し、画面表示に従ってペアリングします。

Bluetooth LED が点灯に変わったら、接続完了です。

- ※ アプリにある音色はスマートフォンから鳴ります。アプリ音色を鳴らすときは、Aerophone mini 本体の音量を最小にしてください (P.6)。音量が上がっていると、アプリ音色と本機の音が同時に鳴ります。
- ※ アプリの音色がスマートフォンから鳴るときに、音が遅れて聞こえることがあります。故障ではありません。
- ※ アプリを使用しているときは、スマートフォンで再生した音楽を鳴らす機能はお使いいただけません。オーディオ接続中にアプリを接続すると、オーディオ接続が解除されアプリが接続されます。

Bluetooth 接続できないときは？

Aerophone miniとスマートフォンのペアリングがうまくいかないときは、以下をご確認ください。

確認事項／症状	対策
[①] スイッチを「  」の位置にしていますか？	[①] スイッチを「  」の位置にしてください。
スマートフォンの設定でBluetoothスイッチが「オン」になっていますか？	スマートフォンの設定で Bluetooth スイッチを「オン」にしてください。 ※「オン」になっていても接続されない場合は、一度「オフ」にしてから再度「オン」にすると接続されることがあります。
アプリ「Aerophone mini Plus」との接続ができない	Android 6.0 以降でお使いのときは、Android の位置情報をオンにしてください。 スマートフォンの Bluetooth 接続を一度解除して、接続設定をやり直します。 1. スマートフォンのすべてのアプリを終了する。 2. ペアリングされている場合はスマートフォンの設定で接続を解除し、Bluetooth スイッチをオフにする。    3. 「アプリと連携して使う」(P.13) の接続手順を1からやり直す。

お問い合わせ先

上記の内容を確認しても解決しないときは、ローランドのサポート・ページをご覧ください。ローランドお客様相談センターにお問い合わせください。
<https://www.roland.com/jp/support/>

ローランドお客様相談センター **050-3101-2555**

電話受付時間： 月曜日～金曜日 10:00～17:00（弊社規定の休日を除く）

※ IP 電話からおかけになって繋がらない場合には、お手数ですが、電話番号の前に“0000”（ゼロ4回）をつけてNTTの一般回線からおかけいただくか、携帯電話をご利用ください。

※ 上記窓口の名称、電話番号等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

Aerophone mini のお手入れ

1. 演奏でマウスピースが汚れた場合は、取りはずして水洗いし、柔らかい布で水滴が残らないように拭きます。



2. マウスピースをはめるときは、Aerophone mini 本体との間に隙間ができないように差し込みます。

※ マウスピースの前後を間違えないようご注意ください。誤った向きに差し込むと抜けなくなることがあります。



注意

- マウスピースの内側にあるネジで手をけがしないよう注意してください。
- 市販のリコーダー・クリームを塗ると、着脱しやすくなります。

3. Aerophone mini 本体を壁などに立てかけて、本体内に入った唾液を抜きます。

マウスピースを上にして壁などに立てかけると、中に溜まった唾液がウォーター・ドレイン (P.3) から出てきます。柔らかい布で拭き取ってください。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

安全上のご注意

火災・感電・傷害を防止するには

△ 警告と△ 注意の意味について

 警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
 注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる延大損害を表しています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表しています。具体的な注意内容は、△の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を表しています。具体的な禁止内容は、⊘の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表しています。
	●は、強制（必ずすること）を表しています。具体的な強制内容は、●の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を必ず守ってください

警告

ストラップを使用するときは、首が絞まらないように取り扱いにご注意ください。

Auto Off 機能について

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます（Auto Off 機能）。自動的に電源が切れないようにするには、専用アプリで Auto Off 機能を解除してください。



分解や改造をしない

取扱説明書に書かれていないことはしないでください。故障の原因になります。



個人で修理や部品交換はしない

必ずお買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。



次のような場所で使用や保管はしない

- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- 湯気や油煙が当たる場所
- 塩害の恐れがある場所
- 雨に濡れる場所
- ほこりや砂ぼこりの多い場所
- 振動や揺れの多い場所
- 風通しの悪い場所



不安定な場所に設置しない
転倒や落下によって、けがをする恐れがあります。



警告

大音量で長時間使用しない

大音量で長時間使用すると、難聴になる恐れがあります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。



異物や液体を入れない、液体の入った容器を置かない

本機に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。また、この機器の上に液体の入った容器（花びんなど）を置かないでください。ショートや誤動作など、故障の原因となることがあります。



異常や故障が生じたときは電源を切る

次のような場合は、直ちに電源を切って、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに修理を依頼してください。



- 煙が出たり、異臭がしたりしたとき
- 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- 機器が（雨などで）濡れたとき
- 機器に異常や故障が生じたとき

お子様がけがをしないように注意する

お子様のいる場所で使用する場合、必ず大人の方が、監視／指導してあげてください。



落としたり、強い衝撃を与えたりしない
破損や故障の原因になります。



⚠ 警告**電池の取り扱いに注意する**

間違った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などの危険があります。次のことに注意してください。

- 加熱、分解したり、または火や水の中に入れたりしないでください。
- 日光、炎、または同様の過度の熱にさらさないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 充電電池／充電器は、必ず電池メーカーで指定された充電電池と充電器の組み合わせでお使いください。充電電池／充電器に付属の注意事項を必ず最後まで読み、注意事項を守って正しくお使いください。

**電源コードやケーブルは煩雑にならないように配線する**

足に引っかけると、本機の落下や転倒などにより、けがの原因になることがあります。

**上に乗ったり、重いものを置いたりしない**

転倒や落下によって、けがをする恐れがあります。

**移動するときはすべての接続をはずす**

ケーブルを接続したまま移動すると、破損や故障の原因になります。

**⚠ 警告****電池を取り扱うときの注意**

電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりします。次のことに注意してください。

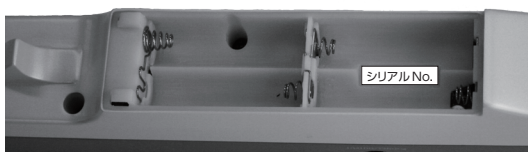
- 電池の+と-を間違えないように、指示どおり入れてください。
- 新しい電池と一度使用した電池や、違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 長時間使用しないときは、記憶した内容をバックアップし、電池を取り出しておいてください。
- 電池を、金属性のボールペン、ネックレス、ヘアピンなどと一緒に携帯したり、保管したりしないでください。
- 使用済みの電池を捨てるときは、各地域のゴミ分別収集のしかたに従ってください。

**液漏れした電池の取り扱いに注意する**

- 液は素手で触らないでください。
- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずにきれいな水でよく洗い流したあと、直ちに医師に相談してください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚にやけどや炎症を起こす恐れがあります。きれいな水でよく洗い流したあと、直ちに医師に相談してください。
- 柔らかい布で電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。

**製品シリアル No.**

本機のシリアル No. は、電池ボックスを開けた内側に記載してあります。



English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

使用上のご注意

電池について

- 電池を入れる／取り出すときは、本機の電源を切り、他の機器との接続をはずしてください。
- 電池で使用する場合はニッケル水素電池を使用してください。

設置について

- 本機の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えてください。
- 本機をテレビやラジオの近くで動作させると、テレビ画面に色ムラが出たりラジオから雑音が出たりすることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 本機の近くで携帯電話などの無線機器を使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、無線機器を本機から遠ざけるか、電源を切ってください。
- 極端に温湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴が付く（結露する）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になります。数時間放置して、結露がなくなってから使用してください。
- 本機の上に液体の入った容器などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、速やかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

お手入れについて

- 変色や変形の原因となる、ベンジン、シンナー、アルコール類は使用しないでください。

修理について

- お客様が本機または付属品を分解（取扱説明書に指示がある場合を除く）、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合があります。
- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。

- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ケーブルを抜くときは、ショートや断線を防ぐため、プラグ部分を持って引き抜いてください。
- 周囲に迷惑がかからないように、音量に十分注意してください。
- 本機が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄するときは、各地域のゴミの分別基準に従ってください。

電波に関する注意

- 以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
- 本製品を分解／改造する
 - 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがす
 - 本製品を購入した国以外で使用する
- 本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）や特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

- ・移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して、万一、本機が原因と思われる有害な電波干渉の事例が発生した場合には、電波の発射を停止した上で、混信回避のための処置等（たとえば、パーティションの設置など）についてローランドお客様相談センターにご相談ください。
- ・その他、発生した問題についてお困りの場合も、ローランドお客様相談センターにご相談ください。
※ ローランドお客様相談センターへの連絡につきましては、取扱説明書などに記載の「お問い合わせの窓口」をご覧ください。
- ・認証取得済みの特定無線設備を搭載しています。
- ・本製品を心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離して使用してください。ペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。

知的財産権について

- ・製品に内蔵、付属されたコンテンツ（音色波形データ、スタイル・データ、伴奏パターン、フレーズ・データ、オーディオ・ループ、画像データなど）の著作権は当社が保有しています。
- ・製品に内蔵、付属されたコンテンツ（ただしデモ曲などの楽曲データは除く）を素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布をすることに関しては、当社の許諾を必要としません。
- ・製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。
- ・Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ローランドはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- ・Roland は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- ・文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

主な仕様

ローランド Aerophone mini (AE-01) : デジタル・ウィンド・インストルメント

電源	USB AC アダプター（別売） ニッケル水素電池単 3 形（別売）× 4
消費電流	400mA
電池の寿命 （連続使用時）	ニッケル水素電池：約 10 時間 （容量 1,900mAh 使用時） ※ 使用状態によって異なります ※ マンガン乾電池、アルカリ乾電池は使用不可
Bluetooth	Bluetooth 標準規格 Ver 4.2 対応プロファイル：A2DP（オーディオ）、GATT（MIDI over Bluetooth Low Energy） 対応コーデック：SBC（SCMS-T 方式によるコンテンツ保護に対応）
外形寸法	43（幅）× 76（奥行）× 444（高さ）mm
質量（電池含む）	500g
付属品	取扱説明書、保証書、ローランド ユーザー登録カード、マウスピース・キャップ、ネック・ストラップ、バンド、USB ケーブル（電源用（Type A））
別売品	交換用マウスピース（OP-AE05MPH）

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

Fingering Chart / 運指表

B3 C4 C#4/D $\flat$ 4

Fingering chart for notes B3, C4, and C#4/D $\flat$ 4. The chart shows the finger placement (black dots) and thumb position (white dots) for each note on a fretboard.

D4 D#4/E $\flat$ 4 E4

Fingering chart for notes D4, D#4/E $\flat$ 4, and E4. The chart shows the finger placement (black dots) and thumb position (white dots) for each note on a fretboard.

F4 F#4/G $\flat$ 4

Fingering chart for notes F4 and F#4/G $\flat$ 4. The chart shows the finger placement (black dots) and thumb position (white dots) for each note on a fretboard.

G4 G#4/A,4 A4

This section shows the first three notes of a scale. Each note is represented by a treble clef staff with a whole note and a corresponding fretboard diagram. The fretboard diagrams are vertical rectangles with a blue background, showing the positions of the left hand fingers (black dots) and the right hand fingers (white dots) for each note.

- G4:** The note is on the first line of the staff. The fretboard diagram shows the first finger on the first fret and the second, third, and fourth fingers on the second, third, and fourth frets respectively.
- G#4/A,4:** The note is on the second line of the staff. The fretboard diagram shows the first finger on the second fret and the second, third, and fourth fingers on the third, fourth, and fifth frets respectively.
- A4:** The note is on the second space of the staff. The fretboard diagram shows the first finger on the third fret and the second, third, and fourth fingers on the fourth, fifth, and sixth frets respectively.

A#4/B,4 B4 C5

This section shows the next three notes of the scale. Each note is represented by a treble clef staff with a whole note and a corresponding fretboard diagram.

- A#4/B,4:** The note is on the third line of the staff. The fretboard diagram shows the first finger on the fourth fret and the second, third, and fourth fingers on the fifth, sixth, and seventh frets respectively.
- B4:** The note is on the third space of the staff. The fretboard diagram shows the first finger on the fifth fret and the second, third, and fourth fingers on the sixth, seventh, and eighth frets respectively.
- C5:** The note is on the fourth line of the staff. The fretboard diagram shows the first finger on the sixth fret and the second, third, and fourth fingers on the seventh, eighth, and ninth frets respectively.

C#5/D,5

This section shows the final note of the scale. It is represented by a treble clef staff with a whole note and a corresponding fretboard diagram.

- C#5/D,5:** The note is on the fourth space of the staff. The fretboard diagram shows the first finger on the seventh fret and the second, third, and fourth fingers on the eighth, ninth, and tenth frets respectively.

MEMO



Roland Service Centers and Distributors

When you need repair service, access this URL and find your nearest Roland Service Center or authorized Roland distributor in your country.

<http://roland.cm/service>





ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川 2036-1